

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 11 月 15 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104555		
法人名	(有) ユニット・ワン		
事業所名	グループホーム ユニットまつやま		
所在地	愛媛県松山市井門町790-1 (電話) 089-958-0311		
管理者	黒河 亮		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 9 月 7 日	評価確定日	平成 19 年 11 月 15 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 8 月 10 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 1 月 10 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 13 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	12.2 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有()円	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,400 円		

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 8 月 10 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護 1	5 名		要介護 2	2 名	
要介護 3	4 名		要介護 4	2 名	
要介護 5	5 名		要支援 2	名	
年齢	平均 83 歳	最低 65 歳	最高	95 歳	

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯に立地しており、周囲からは季節の移り変わりを感じられる。屋内は広く、思い思いにゆったりと寛げる。屋外も広く、花や野菜に触れることができ、自然の中で心を癒してくれる。利用者一人ひとりにそったケアを心がけ、レクリエーションや体操なども強要せず、自由に参加してもらっている。ピアノ演奏に合わせて歌を歌ったり、一人ひとりの機能に合わせた楽しみを提供している。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
前回の外部評価で地域との交流のあり方について課題を出されたことを受け、より積極的に地域の行事に参加したり、地域の人とのふれあいを増やすなどして、交流を深めるように努めている。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
自己評価で気づいた点を全職員が話し合い、改善に繋げている。自己評価はホーム長、副ホーム長が骨子をまとめたため職員の意識が不十分な点もあり、次回からは全職員の話し合いを大切にしたい自己評価を行うことが求められる。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
今年に入ってから3回開催している。行政、家族代表などの参加を得て忌憚のない意見が出され、大切な気付きを与えられている。今回は地域代表者の参加を得て、より一層地域への啓発と協力が得られるよう期待したい。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
ほとんどの家族が頻りにホームを訪ねており、日々の様子や行事などの情報を直接伝えている。来訪の少ない家族には電話や手紙等で情報交換を行っている。ホーム内と外部の苦情相談窓口を設け、家族からの声を聞き取るよう努めている。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
町内会に参加し、地域の行事には極力参加するよう努めている。個人情報の保護に配慮したホーム便りを発行し、地域の学校、施設などに届けて積極的に情報を発信し、理解と協力が得られるよう期待したい。

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域密着型の具体的な事業所独自の理念を作った。 (外部評価) 設立時からの理念を事務所に掲げ、職員の名札の裏に記し、常に理念を大切にすることがケアに当たっている。地域密着型サービスの理解は今後の課題である。	※	職員全員で地域密着型サービスの役割を理解し合って理念を作り上げ、利用者、家族に分りやすく説明することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念に添って実践している。 (外部評価) ホーム長と職員は地域密着型サービスの理念を共有するまでに至っていない。	※	ホーム長は今後新しく作り上げる地域密着型サービスの理念を職員に語りかけ、共有し合うことが求められる。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族へ理念の浸透は図っているが理念が地域の中でのものと違うため地域の人への浸透は取り組みできていない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) おもちゃを配る。近所の美容室を利用する。駐車場を貸す等で犬の散歩時、朝・夕の通勤時は声を掛け合うようになった。		回覧板やチラシを利用しホームの行事を知らせ立ち寄ってもらえる機会を増やしたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地区の清掃活動への参加や秋祭り参加等を通じ交流に努めている。 (外部評価) 町内会に参加して地域の方とは親しく挨拶を交わしている。また地域の大掃除などの行事にも協力して交流を深めるよう努めている。地方祭にはみこしが立ち寄ってくれる。	※	個人情報保護に十分配慮したホーム便りを定期的に発行し、ホームの行事報告を含めた情報を家族、地域の学校、施設などに届け、理解と啓発に一層努めることを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者の状況か把握できていないが又利用者への支援が優先するため取り組めていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を生かし取り組もうとしているがあまり進んでいない。 (外部評価) 前回調査で課題としてあげられた「地域との交流のあり方」に関して、地域とのふれあいをより密に行うよう改善策を講じている。自己評価はホーム長と副ホーム長が骨子をまとめ、それに関して職員の意見を聞く方式をとっている。	※	自己評価は職員全員が意識を高めるためにも、日々の生活の中から意見を出し合って作成することが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議での意見はできる事から取り組みサービス向上に努めている。 (外部評価) 会議は今年に入って3回、行政、地域包括支援センター、家族代表者等を交えて開催しているが、地域代表者の出席がほとんどない。ホーム側から行事説明を行い、参加者から要望や質問を受けている。	※	地域代表者（町内会長、民生児童委員、消防団代表者など）の出席をお願いし、地域密着型サービスの足固めを行っていくことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 現在、推進会議以外には行き来する機会がない。 (外部評価) 市担当者の来訪があり、疑問や相談に応じてもらっている。ホーム側から積極的に市担当者に連絡をとることはないが、今後一層の連携をとり、ケアの向上に繋げてゆくよう心がけている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度の研修に職員を参加させている。現に保佐人がいる利用者もいて連携をとっている。		成年後見制度を理解できている職員は一部であり、全員理解できるようにしたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢虐待防止の研修に参加させたり、職員間で虐待を見過ごさないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い、理解・納得を図っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者より不満の訴えがあった時は話を聴き職員間でミーティングを行い、ユニット毎に完全分離体制とした。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や電話・手紙等で定期的に行っている。 (外部評価) 利用者はほとんどが地域の方なので来訪してもらう機会が多く、その際に金銭面、生活状態、健康面などの情報を伝え、希望や意見なども聞き取っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置し意見がある時はすぐにカンファレンスを開き反映している。 (外部評価) ホーム内と第三者機関の相談窓口について書類に明記し、家族にも説明を行っている。玄関にも意見箱を設置し、来訪者からの声を聞き取る工夫がある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回ミーティング・ホーム長会議などをして意見交換をしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 同例のグループホームへの異動や離職がある場合には、利用者への関わりをもちダメージを防ぐ配慮をしている。 (外部評価) 職員異動はほとんどないが、異動の際は他の職員が精神面も含め、全面的にケアに当たっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) マニュアルはないがミーティング・カンファレンスを行ったり、法人内外の研修参加させている。 (外部評価) 職員の希望する研修には極力受講できるよう促している。また参加者は受講後、報告書をまとめて他の職員のケアの向上に役立つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) グループホーム間の総合評価が唯一、他グループホームとの交流、同例での三つのグループホームでの交流は行っている。 (外部評価) 運営法人内での交流は、お互いに参加を呼びかけるなど機会を設けている。法人以外のホームとの交流も、今後の課題として検討している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングに参加したり、上司が個々に話しを聞いたりとしてストレス軽減に努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職場に入りスタッフの意見を聞きながら、働きやすい環境になるように改善している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 担当者を決め聴く機会を作っている。担当者で受け止められ無い時は上司に相談し、信頼関係を深める努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前から関わり相談に乗っている。時には家族の悩みまで聴く事もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 介護レベルにあわせ家族の希望も取り入れている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 徐々に馴染めるようにスタッフと家族が相談しながら対応している。 (外部評価) 入所希望者にはホームでレクリエーションに参加してもらったり、利用者と一緒におやつの時間を過ごすなどして、環境に馴染んでもらっている。また無料の体験入所も行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) コミュニケーションを取りながら昔の事や知っている事を教えてもらい、喜怒哀楽を共にしようと努力している。 (外部評価) 過去の経歴や好みを活かして、花づくりや能力にあった作業を共に行いながら、感情の共有に努めている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に家族と話をする時間をとって一緒に支える関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 『家族の愛』に勝るものはないと常日頃より家族様へ言ってお面会の機会を増やして頂いている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人とは面会を通じて関係が保てているが場所までは支援できていない。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクリエーション、行事・体操を通じ関わりを持つよう努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 郵便物などの連絡、入院による退去者に対してお見舞いに行く。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の思いで困難な場合は等は、話し合いの場をもっている。 (外部評価) 全職員が一人ひとりに話しかけることをケアの中心に置き、些細な表情からも希望や不満を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査・入居してから聞いた話をファイルに入れて把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 24時間のことを経過記録に書き、把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画に今回、家族の思いという項目を作った。理解力のある方は本人と話し合いスタッフ間でカンファレンスを行いプランを作成している。 (外部評価) 家族との話し合いを十分持ち、日々の生活記録も参考にし、かかりつけ医の指示も受けながら、職員が十分検討しながら介護計画を作成している。また新たに「家族の思い」という項目を設け、本人を大切にしたい計画作成に努めている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 1ヶ月に1回評価、3ヶ月に1回カンファレンスを行い、対応できない変化が生じた場合は新たなケアプランを作成している。 (外部評価) 生活状態に変化のある利用者に関しては、1か月ごとに状態を観察し、3か月に1度の会議を持って、必要な対応をしている。また全ての利用者に関しても、6か月ごとに計画の見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の経過記録にケアプランを印刷し○をつけ実践。受診後の変更等も記入する事で情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 事業所で3つのグループホームがある為、行事等を利用し交流を図っている。 (外部評価) 日々の生活では一人ひとりの希望を優先的に取り入れ、入浴支援では本人の希望する日と時間帯に入浴支援を行い、また診察の必要な利用者を送迎し、「話すことが仕事」と受け止め、全員に声をかけ、希望に沿うよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 済美高校の音楽科による演奏会を開催したり、警察には、不審者に対するの警備や、老人の保護などに連携をとっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) グループ間でケアマネジャー会を催したり、研修を通して他の事業所のケアマネジャーと話し合いをもっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 特になし。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) (外部評価) 協力医療機関やかかりつけの医療機関で全員が定期的に健康診断を受け、健康面に関して安心できる体制をとっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 定期検診や往診依頼し治療を受けられるようにしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) N s 3名で常時健康管理と医療機関へ受診・連絡を行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は頻繁に情報交換し退院に向けて連絡している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時に重度化の対応を説明し常に医師と家族との話し合いをもつ。又、医師の指示を家族へ伝えている。 (外部評価) 重度化及び看取りに関する指針を家族に渡し、説明を行っている。利用者が重度化した場合は家族に相談し、医師の指示に従っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化時はNsを中心に常に医師との連携をとり、できる事はチームで支援している。変化に対しても準備している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 特にしていない。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 記録の保護、1人ひとりに合った言葉かけをしている。 (外部評価) 利用者には人生の先輩としての言葉かけを行い、書類上の個人情報の取り扱いには十分配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 理解力に応じて説明し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 体操などで声掛けするが、居室で過ごしたい時は見守り、希望にそって支援している。 (外部評価) 画一的なケアに偏るのではなく、利用者の好みに応じてレクリエーションや体操に参加してもらうよう誘っている。希望に沿わない場合は居室で寛いでもらっている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 現在、美容は希望すれば行き、職員で定期的にカットしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 月2回〇〇の日を作っている。食事は一緒に食べるが、準備・片づけはスタッフで行っている。 (外部評価) 専門家によるカロリー計算に基づいた献立をたてている。介助の必要な利用者には、傍に座り、ゆったりと支援している。食事は美味しく食べやすいメニューであった。		『〇〇の日』といった日を多くしたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 朝はオーダードリンク。居室にてお茶を楽しまれる人もいて状況に合わせている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 定期的にトイレ誘導し、失禁時はパット交換を行う。動きが悪い人は夜間Pトイレ使用で排泄するよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 1人ひとりの希望や体調を見て入浴を楽しめるよう支援している。 (外部評価) 1週間に2度は入浴してもらうことを基本とし、希望者には毎日でも入浴支援を行っている。希望の時間帯に合わせて支援している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) できる人が洗濯物たたみ、体操カードのスタンプ押しをして頂いている。又、ピアノを設置し時々ピアノの演奏会を行って気張らししている。 (外部評価) 洗濯物たたみ、花の水やり、体操、ピアノ演奏による歌など、またお花見や椿祭りなどにも出かけて楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる人は買い物時使っている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) スタッフの人数でその日の状況で日常的に外出は無理だが家族の協力やスタッフの買い物時に外出するよう支援している。裏庭へは常時出入りできるようにしている。 (外部評価) それぞれの希望にそった外出の支援はできないが、季節に合わせて全員で花見や近くの神社のお祭りなどに出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族の協力がないとできない。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会室を設けたり、気軽に来られるように声掛けしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はない。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 入居者の方が行方不明で警察に依頼したことがあり、安全の為に玄関は自由に出入りはできなくなっている。 (外部評価) 外出傾向のある利用者の安全を考えて、玄関は日中も施錠している。施錠しないでの安全策を模索している段階である。	※	利用者のサインや動きから外出傾向を察知し、また地域や警察の協力も依頼し、職員全員が工夫して利用者に心理的不安を与えないような対策を講じることを期待する。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 見守りし安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には行えてないが緊急時の連絡方法は掲示している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の人々の協力を得られるようにはできていない。 (外部評価) 年に1度は消防署の指導を得て避難訓練を行っている。さらに利用者全員の安全を保障するために地域の協力を得た訓練が必要であるが、その方向へ向けた対策が講じられていない。	※	町内会長、地域住人に協力してもらい、災害時に対する話し合いの機会をもつようにしたい。 運営推進員会議などを通して地域の理解と協力が得られるよう努め、地域と協働して避難訓練を実施することを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 常に話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝・タバイタルチェックし体調の変化時は主治医への連絡・指示受けしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の副作用までは全員理解できていないが症状の変化時は主治医・Nsへ相談し対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) リハビリ体操を行っている。飲み物・指示薬を使用して便秘に対応している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 1人ひとりに応じた支援をしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 外部に献立を依頼し栄養バランスはとれている。水分量はスタッフが状態にあわせて行っている。 (外部評価) 食事量は詳細に記録し、水分補給にも十分注意を払っている。利用者によっては必要に応じて糖分、塩分を軽減する場合もある。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防や対応の取り決めをして食器煮沸・乾燥し、手摺り・ドアノブはゾル消毒を実行している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理スタッフはマスク・帽子・ガウンをし、調理用具は煮沸・乾燥し、食材は配達してもらい、衛生管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりは広く花も植え自然が見える柵・囲いをしないで工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎月手作りカレンダーや掲示物を替えて季節感を取り入れている。又、不快な音や光には配慮している。 (外部評価) 共用広間は広く、自然のあかりを採り入れた心休まる雰囲気である。床の間のある和室もあり、ゆったりとくつろげる。玄関やテラスにはいすを備え、自由に過ごすことができる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにソファを置き、玄関に椅子を置き、畳の空間もある等、過ごしやすくしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものは居室に置いている。 (外部評価) 馴染みのある物品や使い慣れた用具を持ち込み、自分の部屋らしく工夫している。換気、室温も適切に管理されており、ゆったりと過ごせる部屋づくりを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は毎日、温度調節も状況に応じて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 洋式トイレ、手摺り設置、歩行器、車いすでも動けるよう空間がとってある。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレや名札を表示して間違わないようにしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の周りは田畑や花壇があり、季節を楽しみ収穫出来る事もある。デッキを含め中庭が広く散歩できるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	思いを表出する利用者は意向をつかんでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日々の行事に追われゆったり過ごす場面は少ないが、できるだけ時間を作ろうと努力している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	無理強いしない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	レクリエーション、外出時に生き生きとした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族の方と一緒にいられている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日2回のバイタルチェック、受診、往診、主治医との連携はとれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況や要望に応じた対応を心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時や電話にて話を聞いている。時には家族のプライベートな事まで相談を受ける事もある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	入居しているの知らない人もいて馴染みの人の来訪は少ない人もいる。地域の人々の訪問はほとんどない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	回覧板、地区の行事への参加等で少しずつ理解されてきたと感じている。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の仕事でストレスもたまり、又、体調を壊す職員もいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不満を訴える人がいないためそう思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者と家族の思いが違う事があり、利用者の思いを優先するため家族の満足度は低くなっていると思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

ユニット・ワン

(ユニット名)

ユニットまつやま B棟

記入者(管理者)

氏名

黒河 亮

評価完了日

平成 19 年 8 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域密着型の具体的な事業所独自の理念を作った。 (外部評価) 設立時からの理念を事務所に掲げ、職員の名札の裏に記し、常に理念を大切にすることがケアに当たっている。地域密着型サービスの理解は今後の課題である。	※	職員全員で地域密着型サービスの役割を理解し合って理念を作り上げ、利用者、家族に分りやすく説明することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念に添って実践している。 (外部評価) ホーム長と職員は地域密着型サービスの理念を共有するまでに至っていない。	※	ホーム長は今後新しく作り上げる地域密着型サービスの理念を職員に語りかけ、共有し合うことが求められる。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族へ理念の浸透は図っているが理念が地域の中でのものと違うため地域の人への浸透は取り組みできていない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) おもちゃを配る。近所の美容室を利用する。駐車場を貸す等で犬の散歩時、朝・夕の通勤時は声を掛け合うようになった。		回覧板やチラシを利用しホームの行事を知らせ立ち寄ってもらえる機会を増やしたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地区の清掃活動への参加や秋祭り参加等を通じ交流に努めている。 (外部評価) 町内会に参加して地域の方とは親しく挨拶を交わしている。また地域の大掃除などの行事にも協力して交流を深めるよう努めている。地方祭にはみこしが立ち寄ってくれる。	※	個人情報保護に十分配慮したホーム便りを定期的に発行し、ホームの行事報告を含めた情報を家族、地域の学校、施設などに届け、理解と啓発に一層努めることを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者の状況か把握できていないが又利用者への支援が優先するため取り組めていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を生かし取り組もうとしているがあまり進んでいない。 (外部評価) 前回調査で課題としてあげられた「地域との交流のあり方」に関して、地域とのふれあいをより密に行うよう改善策を講じている。自己評価はホーム長と副ホーム長が骨子をまとめ、それに関して職員の意見を聞く方式をとっている。	※	自己評価は職員全員が意識を高めるためにも、日々の生活の中から意見を出し合って作成することが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議での意見はできる事から取り組みサービス向上に努めている。 (外部評価) 会議は今年に入って3回、行政、地域包括支援センター、家族代表者等を交えて開催しているが、地域代表者の出席がほとんどない。ホーム側から行事説明を行い、参加者から要望や質問を受けている。	※	地域代表者（町内会長、民生児童委員、消防団代表者など）の出席をお願いし、地域密着型サービスの足固めを行っていくことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 現在、推進会議以外には行き来する機会がない。 (外部評価) 市担当者の来訪があり、疑問や相談に応じてもらっている。ホーム側から積極的に市担当者に連絡をとることはないが、今後一層の連携をとり、ケアの向上に繋げてゆくよう心がけている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度の研修に職員を参加させている。現に保佐人がいる利用者もいて連携をとっている。		成年後見制度を理解できている職員は一部であり、全員理解できるようにしたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢虐待防止の研修に参加させたり、職員間で虐待を見過ごさないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い、理解・納得を図っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者より不満の訴えがあった時は話を聴き職員間でミーティングを行い、ユニット毎に完全分離体制とした。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や電話・手紙等で定期的に行っている。 (外部評価) 利用者はほとんどが地域の方なので来訪してもらう機会が多く、その際に金銭面、生活状態、健康面などの情報を伝え、希望や意見なども聞き取っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置し意見がある時はすぐにカンファレンスを開き反映している。 (外部評価) ホーム内と第三者機関の相談窓口について書類に明記し、家族にも説明を行っている。玄関にも意見箱を設置し、来訪者からの声を聞き取る工夫がある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回ミーティング・ホーム長会議などをして意見交換をしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 同例のグループホームへの異動や離職がある場合には、利用者への関わりをもちダメージを防ぐ配慮をしている。 (外部評価) 職員異動はほとんどないが、異動の際は他の職員が精神面も含め、全面的にケアに当たっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) マニュアルはないがミーティング・カンファレンスを行ったり、法人内外の研修参加させている。 (外部評価) 職員の希望する研修には極力受講できるよう促している。また参加者は受講後、報告書をまとめて他の職員のケアの向上に役立つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) グループホーム間の総合評価が唯一、他グループホームとの交流、同例での三つのグループホームでの交流は行っている。 (外部評価) 運営法人内での交流は、お互いに参加を呼びかけるなど機会を設けている。法人以外のホームとの交流も、今後の課題として検討している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングに参加したり、上司が個々に話しを聞いたりとしてストレス軽減に努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職場に入りスタッフの意見を聞きながら、働きやすい環境になるように改善している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 担当者を決め聴く機会を作っている。担当者で受け止められ無い時は上司に相談し、信頼関係を深める努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前から関わり相談に乗っている。時には家族の悩みまで聴く事もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 介護レベルにあわせ家族の希望も取り入れている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 徐々に馴染めるようにスタッフと家族が相談しながら対応している。 (外部評価) 入所希望者にはホームでレクリエーションに参加してもらったり、利用者と一緒におやつの時間を過ごすなどして、環境に馴染んでもらっている。また無料の体験入所も行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) コミュニケーションを取りながら昔の事や知っている事を教えてもらい、喜怒哀楽を共にしようと努力している。 (外部評価) 過去の経歴や好みを活かして、花づくりや能力にあった作業を共に行いながら、感情の共有に努めている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に家族と話をする時間をとって一緒に支える関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 『家族の愛』に勝るものはないと常日頃より家族様へ言って面会の機会を増やして頂いている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人とは面会を通じて関係が保てているが場所までは支援できていない。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクリエーション、行事・体操を通じ関わりを持つよう努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 郵便物などの連絡、入院による退去者に対してお見舞いに行く。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 意向・希望の把握に努めているが、本人の意思表示ができない場合は本人本位に検討している。 (外部評価) 全職員が一人ひとりに話しかけることをケアの中心に置き、些細な表情からも希望や不満を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査と入所してから聞いた話などを個人ファイルに書き把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 24時間のことを経過記録に書き、把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画に今回、家族の思いという項目を作った。理解力のある方は本人と話し合いスタッフ間でカンファレンスを行いプランを作成している。 (外部評価) 家族との話し合いを十分持ち、日々の生活記録も参考にし、かかりつけ医の指示も受けながら、職員が十分検討しながら介護計画を作成している。また新たに「家族の思い」という項目を設け、本人を大切にしたい計画作成に努めている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 1ヶ月に1回評価、3ヶ月に1回カンファレンスを行っている。対応できてない変化が生じた場合は、新たなケアプランを作成している。 (外部評価) 生活状態に変化のある利用者に関しては、1か月ごとに状態を観察し、3か月に1度の会議を持って、必要な対応をしている。また全ての利用者に関しても、6か月ごとに計画の見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の経過記録にケアプランを印刷し○をつけ実践。受診後の変更等も記入する事で情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 事業所で3つのグループホームがある為、行事等を利用し交流を図っている。 (外部評価) 日々の生活では一人ひとりの希望を優先的に取り入れ、入浴支援では本人の希望する日と時間帯に入浴支援を行い、また診察の必要な利用者を送迎し、「話すことが仕事」と受け止め、全員に声をかけ、希望に沿うよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 済美高校の音楽科による演奏会を開催したり、警察には、不審者に対するの警備や、老人の保護などに連携をとっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) グループ間でケアマネジャー会を催したり、研修を通して他の事業所のケアマネジャーと話し合いをもっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 特になし。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) (外部評価) 協力医療機関やかかりつけの医療機関で全員が定期的に健康診断を受け、健康面に関して安心できる体制をとっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 定期検診や往診依頼し治療を受けられるようにしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) N s 3名で常時健康管理と医療機関へ受診・連絡を行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は頻繁に情報交換し退院に向けて連絡している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時に重度化の対応を説明し常に医師と家族との話し合いをもつ。又、医師の指示を家族へ伝えている。 (外部評価) 重度化及び看取りに関する指針を家族に渡し、説明を行っている。利用者が重度化した場合は家族に相談し、医師の指示に従っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化時はNsを中心に常に医師との連携をとり、できる事はチームで支援している。変化に対しても準備している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 特にしていない。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 記録の保護、1人ひとりに合った言葉かけをしている。 (外部評価) 利用者には人生の先輩としての言葉かけを行い、書類上の個人情報の取り扱いには十分配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 希望を出せない人には、本人本位に検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 介護度が違うため、希望に添った支援はしにくい。 (外部評価) 画一的なケアに偏るのではなく、利用者の好みに応じてレクリエーションや体操に参加してもらうよう誘っている。希望に沿わない場合は居室で寛いでもらっている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 希望ができないため、スタッフが散髪やコーディネートをしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) スタッフが食事介助に入るために、一緒に食事・片づけができない。 (外部評価) 専門家によるカロリー計算に基づいた献立をたてている。介助の必要な利用者には、傍に座り、ゆったりと支援している。食事は美味しく食べやすいメニューであった。		『〇〇の日』といった日を多くしたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 1人ひとりの状況に合わせている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツの使用を減らすために、トイレ誘導を行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 自己決定できる人が少ないため職員の都合でしている。 (外部評価) 1週間に2度は入浴してもらうことを基本とし、希望者には毎日でも入浴支援を行っている。希望の時間帯に合わせて支援している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 自己決定できる人が少ないため支援ができていない。 (外部評価) 洗濯物たたみ、花の水やり、体操、ピアノ演奏による歌など、またお花見や椿祭りなどにも出かけて楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理ができる人がいないため職員が管理している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 家族の協力のもと、戸外に出かけるように支援している。 (外部評価) それぞれの希望にそった外出の支援はできないが、季節に合わせて全員で花見や近くの神社のお祭りなどに出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族の協力がないとできない。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) できる人がいないため支援できない。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会室を設けたり、気軽に来られるように声掛けしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 入居時は安全ベルトをしていたが、今では職員が理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 入居者の方が行方不明で警察に依頼したことがあり、安全の為に玄関は自由に出入りはできなくなっている。 (外部評価) 外出傾向のある利用者の安全を考えて、玄関は日中も施錠している。施錠しないでの安全策を模索している段階である。	※	利用者のサインや動きから外出傾向を察知し、また地域や警察の協力も依頼し、職員全員が工夫して利用者に心理的不安を与えないような対策を講じることを期待する。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 見守りし安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には行えてないが緊急時の連絡方法は掲示している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の人々の協力を得られるようにはできていない。 (外部評価) 年に1度は消防署の指導を得て避難訓練を行っている。さらに利用者全員の安全を保障するために地域の協力を得た訓練が必要であるが、その方向へ向けた対策が講じられていない。	※	町内会長、地域住人に協力してもらい、災害時に対する話し合いの機会をもつようにしたい。 運営推進員会議などを通して地域の理解と協力が得られるよう努め、地域と協働して避難訓練を実施することを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 常に話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝・タバイタルチェックし体調の変化時は主治医への連絡・指示受けしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の副作用までは全員理解できていないが症状の変化時は主治医・Nsへ相談し対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) リハビリ体操を行っている。飲み物・指示薬を使用して便秘に対応している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 1人ひとりに応じた支援をしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 外部に献立を依頼し栄養バランスはとれている。水分量はスタッフが状態にあわせて行っている。 (外部評価) 食事量は詳細に記録し、水分補給にも十分注意を払っている。利用者によっては必要に応じて糖分、塩分を軽減する場合もある。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防や対応の取り決めをして食器煮沸・乾燥し、手摺り・ドアノブはゾル消毒を実行している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理スタッフはマスク・帽子・ガウンをし、調理用具は煮沸・乾燥し、食材は配達してもらい、衛生管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりは広く花も植え自然が見える柵・囲いをしないで工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎月手作りカレンダーや掲示物を替えて季節感を取り入れている。又、不快な音や光には配慮している。 (外部評価) 共用広間は広く、自然のあかりを採り入れた心休まる雰囲気である。床の間のある和室もあり、ゆったりとくつろげる。玄関やテラスにはいすを備え、自由に過ごすことができる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにソファを置き、玄関に椅子を置き、畳の空間もある等、過ごしやすくしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものは居室に置いている。 (外部評価) 馴染みのある物品や使い慣れた用具を持ち込み、自分の部屋らしく工夫している。換気、室温も適切に管理されており、ゆったりと過ごせる部屋づくりを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は毎日、温度調節も状況に応じて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 洋式トイレ、手摺り設置、歩行器、車いすでも動けるよう空間がとってある。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレや名札を表示して間違わないようにしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の周りは田畑や花壇があり、季節を楽しみ収穫出来る事もある。デッキを含め中庭が広く散歩できるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	思いを表出する利用者が少ないためにはっきりしない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ソファに座って一緒に話をしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1人1人のペースで行動している人が多い。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声掛けにて、笑ったり、喜んだりする姿が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族が協力して戸外に出られる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日2回のバイタルチェック、受診、往診、主治医との連携はとれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況や要望に応じた対応を心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時や電話にて話を聞いている。時には家族のプライベートな事まで相談を受ける事もある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	入居しているのを知らない人もいて馴染みの人の来訪は少ない人もいる。地域の人々の訪問はほとんどない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	回覧板、地区の行事への参加等で少しずつ理解されてきたと感じている。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の仕事でストレスもたまり、又、体調を壊す職員もいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不満を訴える人がいないためそう思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者と家族の思いが違う事があり、利用者の思いを優先するため家族の満足度は低くなっていると思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)